

**第2回北海道農業・農村振興審議会においていただいた
第6期北海道農業・農村振興推進計画(素案)に対する御意見**

項 目	意 見 の 概 要
基本的な考え方について	○ 選択と集中で戦略的に進める部分をもう少し加えてはどうか。 【計画の推進に当たって参考とする】
めざす姿について	○ タイトルの「多様な担い手と人材」について、「担い手」と「人材」の違いがスムーズに理解できるよう、情報発信の仕方、伝え方を工夫する必要がある。 【本文修正】
生産努力目標について	○ 生産努力目標を強力に推進するため、できるだけいろいろな場面で露出するなど、関係者が共通の目標感を持つ環境の創出、醸成が必要。 【計画の推進に当たって参考とする】
農業のデジタル化について	○ 農業のデジタル化に当たって、 <u>まずは光通信体制を整えることが必要</u> 。 【本文修正】 ○ Society5.0の実現に向けて、 <u>コミュニティの中でデジタル化を進める上でのバランスに配慮し、事前の準備、教育、育成等も含めて進めるとともに、経済界とも連携しながらスマートなデジタル化を進めてほしい</u> 。 【本文修正】 ○ GPS電波の妨げになったり、枝が大型機械の作業の障害になっている防風林の樹種などを工夫してほしい。 【計画の推進に当たって参考とする】
農業生産基盤の整備について	○ <u>農業者や地域が必要とする基盤整備に積極的に取り組めるよう、今後の事業推進に向けた農家負担の軽減対策を強調してほしい</u> 。 【本文修正】
新技術の普及について	○ 開発された素晴らしい技術を実践する農家としない農家の格差をすごく感じるので、そこをしっかり取り組んでほしい。 【計画の推進に当たって参考とする】
スマート農業技術の導入について	○ スマート農業を普及させるため、プロを農家に派遣してICT化を進めることを戦略的に推進することが必要。 【計画の推進に当たって参考とする】 ○ ただスマート農業を導入するのではなく、メーカーや普及センターが連携したアフターケア体制を構築してリスクを低減した上で地域に普及してほしい。 【計画の推進に当たって参考とする】

項 目	意見の概要
スマート農業技術の導入について	<p>○ 地域内でICTなどの最先端技術の導入に格差が生じており、省力化を図る際にすべての農家が公平に支援を受けられることが重要。 【計画の推進に当たって参考とする】</p> <p>○ GPS自動操舵装置などへの補助について、情報が行き届いておらず、農家間で不公平なことがあったのが残念。 【計画の推進に当たって参考とする】</p>
需要に応じた米生産について	<p>○ コロナ禍の中で米価の下落を危惧しており、米の作付面積は減るが、収量が上がることに疑問。 【計画の推進に当たって参考とする】</p>
野菜のデータ活用について	<p>○ 野菜において、IoTなどの導入が進んでいない側面を感じており、コスト以外にも、データの具体的な活用方法がわからない、理解しにくい面があるので、これらの進め方も考えていくのがよい。 【本文修正】</p>
災害に備えた生乳生産について	<p>○ 大停電が起きたときに牛乳の廃棄することのないよう、農家が自家発電をできるよう補助などを検討してほしい。 【計画の推進に当たって参考とする】</p>
農薬の飛散防止について	<p>○ ドローンが今後普及する中、空中散布する農薬の飛散の防止技術を向上してほしい。 【計画の推進に当たって参考とする】</p>
有機農業の拡大について	<p>○ 今後は生活スタイルも環境を大事にする方向で変わってくることを考えると、もう少し有機農業を広げてもよい。 【本文修正】</p>
鳥獣被害の防止について	<p>○ 鳥獣被害について対策をお願いしたい。 【計画の推進に当たって参考とする】</p>
農産物の需要拡大等について	<p>○ <u>需要を作り出す工夫をして、需要をどう伸ばしていくのかの観点が必要</u>。北海道のブランドをどう作っていくのか、農業者が一体となって考えていく必要がある。 【本文修正】</p> <p>○ コロナによる需給緩和が農業者にとって一番の問題。今後、消費活動、PR活動は当然だが、輸出についてもスピード感をもって取り組む必要がある。 【計画の推進に当たって参考とする】</p>
農産物等の輸出促進について	<p>○ 日本と異なる食の環境を踏まえて、いかに輸出増を実現していくかを戦略の中に入れていく必要がある。 【計画の推進に当たって参考とする】</p>

項 目	意 見 の 概 要
法人経営について	<p>○ <u>農家戸数が減る中で法人数が増えることで農地を維持している状況</u>。法人にも新しい人材が入ってきており、農業振興にしっかり施策提言できる育て方や、多様な人材の受け入れ方が必要。</p> <p style="text-align: right;">【本文修正】</p>
女性の登用について	<p>○ 女性農業者の参画の話がされている一方で、自分の地域では未だに女性の農業委員や農協役員がおらず、道から市町村への働きかけがされているのか疑問。</p> <p style="text-align: right;">【計画の推進に当たって参考とする】</p>
多様な人材の育成・確保	<p>○ 物事を前に進めることに関してはやはり「人」が重要。農業現場の多様な人材育成に力を注ぐよう、関係機関の連携をお願い。</p> <p style="text-align: right;">【計画の推進に当たって参考とする】</p> <p>○ 「人材」を農業へ誘導していく部分も流れとして計画に入ってくるとより明確になると思う。</p> <p style="text-align: right;">【計画の推進に当たって参考とする】</p> <p>○ 農業にも多様な仕事があることから、第三者継承や親子間に限らない新規就農支援があれば、たくさんの人を育てることができるチャンスとなる。</p> <p style="text-align: right;">【計画の推進に当たって参考とする】</p>
多面的機能の発揮促進について	<p>○ <u>多面的機能の発揮促進に係る多面的機能支払や中山間等直接支払に関する記載が寂しい</u>。</p> <p style="text-align: right;">【本文修正】</p>
消費者と農業者の結び付きの強化について	<p>○ 消費者は、顔の見える生産者とのつながりを大事にしており、そうしたつながりがある生産者を応援したいと考えているとともに、そうした方々から見えてくる生き方にも魅力を感じている。</p> <p style="text-align: right;">【計画の推進に当たって参考とする】</p>